

一般質問

祝 優雄 議員

改善されない 病院経営



基準を満たしている。

〔質問〕現在の病床利用率は50%台前半、看護師、准看護師は何人いるのか。

〔保健医療課長〕現在、助手を含めて63人だ。

〔質問〕市民は、佐渡市の医療と福祉の施設運営を不安

〔市〕県は、第4次の地域

な眼差しで見ている。平成16年度決算で、佐渡市の病院事業の累積欠損額は、31億4012万2006円となっていて、16年単年度では収益24億6461万1830円に対し、費用が28億7589万3455円で、4億1127万8515円の実質の赤字である。累積欠損額は、1年間の収益を超えている。合併以前の平成13年3月21日付けで、「両津病院の経営診断報告書」が提出されている。5年を経過して、改めて指摘された改善項目を点検してみたが、改善の跡が全く見えない。

外来患者、病床利用率、医師の補充状況など悪化の一途をたどっている。この現状を踏まえ、病院事業に取

り組む市長の基本姿勢を聞きたい。

〔市〕県は、第4次の地域保健医療計画で、島内の70%の地域医療を担う厚生連佐渡総合病院を中核として2次あるいは高度医療が

開設できる体制整備を考えている。9月末には、佐渡市の地域医療計画もできる

ので、これをベースに医療行政を進めていきたい。議員指摘の両津病院の経営診

断の後の改善項目の大半は、看護師と准看護師で54人と、108人の入院患者の

対応ができ、80数%の対応ができる人数だ。現在は50%台だ。何人の看護師が余分にいることになるのか。

〔保健医療課長〕議員の言われる数字だと、16人多いかと思う。

〔質問〕両津病院の入院患者130床で、患者2人に看護師1人の体制となっていて

と思う。

〔保健医療課長〕2人に1人の

一般質問

小田 純一 議員

カメラレーダー 島民に選択権を



〔質問〕弾道ミサイルの第一撃は防ぎきれないと言われている。対ミサイルレーダー設置へ、島民の不安が拡大している。最大のリスクは島民の生命と財産が守られないことである。

〔市〕総合的に島民の安全を守る立場からレーダーは必要。民生安定策は旧金井町とのいい関係をベースに、環境の島づくり、景観条例、世界文化遺産指定を目指す政策との整合性はどうか。

〔市〕無いにこしたことはないが、歴史的経過で既に基地は存続している。

〔質問〕現在のレーダーは選

択不能の占領政策の遺物。住民投票や高校生以上へのアンケート等、島民に選択権を。

〔市〕住民投票は考えていない。環境問題がクリアす

れば容認。

〔質問〕レーダーに関する情報を広報等で市民周知を。

〔市〕説明は民意の代表である議会に。テレビを媒介に市民に情報開示したい。

〔市〕サービス低下許すな

〔質問〕民営化後、経営的に重荷となる過疎地の郵便局とサービス切捨てを意図した島内6局の集配廃止計画は、議会と市長の協同行動で平成19年3月までの延期を勝ち取った。今後、計画撤回とサービス低下がないよう郵政公社に要請を。

〔市〕離島の特殊性を訴え、議会と一体となって民営化後もサービスが低下しないよう要請していく。

小佐渡トンネルと国営小倉ダム周辺整備

〔質問〕小倉 丸山間の小佐

渡トンネルは国仲への生活道路として前浜地区住民の悲願。救急30分実現のためにも早期の着工を。

〔市〕南部への重要トンネルであり、早期完成を県に要望したい。

〔質問〕環境保全、景観保護地域振興の視点から小倉ダム周辺整備計画の早期策定を。また、基金運用は地区推進協の計画尊重を。

〔市〕地域振興策として事業基金を活用した整備計画を検討中。

〔農地林政課長〕基金は条例、規則に逸脱しない限り地区推進協計画を実施。

〔質問〕5割減減米栽培への減収補償継続を。

〔産業観光部長〕支援は継続、水準は関係機関と協議。

集配廃止が延期になった多田郵便局



集配廃止が延期になった多田郵便局



一般質問

猪股 文彦 議員

中高一貫校は 両津高校に



市長 この高校にするかは県が最終決定するが、利便性と市立中学校の統合計画を配慮して協議を進める。20年4月1日開校となる見通しである。

質問 大きく見通しを誤った市町村合併により、合併当時計画した事業はできない。したがって、病気の人のお年寄り、子供たちには手厚い施策が必要であり、その分健常者には我慢をお願いすることが必要だ。佐渡市はいわゆる「負け組」であるからこそ、弱い立場の人たちへの施策が必要であると考えるがどうか。

質問 「し尿の汲み取りを頼んでも、なかなか来てくれない」という市民の不満があるが、処理場の能力が足りないのが原因だという。21年建設予定を前倒しする必要があると思うが、どうか。

質問 目を誘致すべきであり、その準備はできているか。
市長 建設計画を見直しており、総合体育館については19年から行いたいと考えている。

質問 いわゆる2007年問題の団塊の世代のUターン・エターンの促進のため、例えば、100坪に2DKの建物付で900万円佐渡市が売り出すということはどうか。多くの佐渡出身の中には、子離れもしたもので佐渡へ帰って住みたいという人たちがいる。また、かつての記者仲間には、4月から11月まで住みたいという人もいるが、どうか。
市長 いい提案なので、検討させてもらいたい。

質問 国体の3年後の平成24年に全国高校総合体育大会が新潟県に予定されている。佐渡市にいくつかの種

質問 中高一貫校の決定が間近だ。佐渡市としては両津高校が適当と思うが、どうか。



両津高校校舎



一般質問

加賀 博昭 議員

自民公明連立内閣の 弱者いじめは許せない



は3102人増。国保は1397万円の増(影響人員3690人)。知的障害者の負担金は7000万円の増。
質問 加賀市政報告を見て、

質問 城腰集落が「戦後60年、むらの戦争体験記」を発行し、「今こそ戦争の悲惨さと平和の尊さを子や孫に語り継ぐ使命がある」とまとめたが、今年8月15日の小泉総理の靖国神社参拝を批判した加藤紘一代議士が右翼によって放火された。戦前、治安維持法に一人国会で反対した山本直治代議士が右翼の凶刃に命を落としたが、戦後60年、まだ靖国の戦時思想が横行している。自民党も小泉総理も声明一つ発していない。靖国事件の認識不足だ、どう思うか。
市長 加藤邸の放火は許し難い。これを許さない社会の仕組みが大事だと思う。この仕組みが大事だと思うが、事実を認めるか。

質問 津病院の薬剤師不足で是正勧告が出ているが知っているか。
福祉保健部長 休憩中に病院に照会した。1月11日付けで是正勧告が出ている。知らなかった。
質問 自・公内閣は、佐渡の老人6300人から1億3000万円、1人当たり2万3000円を増税。知的障害者の通所負担をゼロから一気に2万1500円に引き上げた。来年夏の参議院選挙で自民公明を過半数割れにしなければならぬと市民は怒っているが、事実を認めるか。

質問 病院の組織・機構は、市長 助役 部長 課長 病院部長となっている。この増、納税者

質問 早速職員を連れて加藤さんに指導を仰ぎ、稲の Etaノール実証事業に手を挙げてはどうか。
市長 先輩の加藤さんに会って、指導を仰いでみたい。

以上1億2800万円の増、納税者

旧陸軍の稲からアルコール製造の計算例



一般質問

金光 英晴 議員

財政の見通しについて



質問 市債残高と公債費の見通し、建設計画の再見直しについての所見を問う。

市長 建設計画の見直しを2度行なった。合併10年後から財政規模は大きく減額する。佐渡市のあるべき財政規模を見極めてできるだけ柔軟に着地するためには、事業の更なる見直しも必要となる可能性がある。

質問 市の一般・特別会計の起債合計は約1040億円もある。今後の財政運営をどうするのか。

市長 財政破綻に陥らないよう建設計画も含め、各事業をできるだけ短いサイクルで見直しながら進めていく。

質問 加入金と使用料では維持不可能な下水道事業が

巨額な資金を投じて進行中である。今後、一般会計からの繰入金、市債残高の見直し、事業計画の見直しを考えたか。

市長 下水道のつなぎ込み率が上がらない地域や過疎地域等では、他の経済的導入が必要となる可能性もある。

建設部長 平成16年～25年の下水道建設事業費は374億1000万円。平成18年度の一般会計から繰入金金額は18億7000万円、市債残高は257億9000万円。今後は集合処理、個別処理の経済比較をしながら進

下水道特別会計の見直しをするのか

質問 国・県・団体の事業費と市の負担額、また維持管理費はどうなるのか。

産業観光部長 国営は740億円、市は負担28億7000万円、県営は42億円で市の負担は5700万円である。

める。

国営かんがい排水事業について



巨額を投じるかんがい事業（小倉ダム）



一般質問

村川 四郎 議員

「佐渡島」の呼称統一を



質問 「佐渡島」は文部省の「標準地名」の地図帳には、なぜか「sadosimaサドシマ」と表記されている。一日も早く「サドガシマ」に統一すべきだ。

教育長 佐渡は「サドシマ」が標準地名だが、省庁や辞典等で相違がある。変更には「島民の同意後、海上保安庁と国土地理院へ申請」の手続きが必要。同意形成には議論がいと考える。

「亀脇―楯尾線」の整備計画を

質問 南部の住民には、救急30分圏で重要。眺めが良く、人気の観光道路ともなる。早急な整備を求む。

建設部長 平成6年に県道佐渡一周線に認定。未登記地はあるが重要な路線。登記作業を進めながら、県に

工事開始の依

頼をしていく。

畜産振興策について

質問 畜産は、今が絶好のチャンス。現状と今後の方針を示せ。

市長 今年は、繁殖経営への後継者が数人芽生えた共同畜舎の建設が外海府で開始、異業種参入の大規模経営がスタート、等で佐渡の畜産業に新たな動きが始まった。市は今後も畜産振興を進める。

地域医療計画から

質問 計画は佐渡病院の移転計画を含むが、羽茂病院の覚え書を継続すべき市民病院の巨額な累積赤字をどうするのか。

助役 移転計画は入っていない。全域の医療計画の中で改めて議論する。佐渡病院長から「羽茂病院は厚生連が責任を持って運営」の約束があった。赤字に正面から取り組み改善に乗り出す時期である。



整備が急がれる亀脇 楯尾線